

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

「ものづくり産業」を支える若者・団塊世代等の雇用創出事業

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

室蘭市

## 3. 地域再生計画の区域

室蘭市の全域

## 4. 地域再生計画の目標

室蘭市は、北海道の南西部に位置し、天然の良港を活かし、製鐵・製鋼・造船などを中心に発展してきた工業都市であり、北海道を代表する「ものづくりのまち」である。

高度経済成長期には、鉄鋼など大手基幹企業を中心に大きく発展し、人口も20万人近くを有していたが、その後のオイルショック、産業構造の変化により、大手基幹企業の大規模な合理化、地価の安い周辺地域への人口流出等で人口が激減し、平成17年の国勢調査では、58年ぶりに人口10万人を下回った。

本市においては、財団法人室蘭テクノセンターを通じて、企業の新技術開発・新製品開発や市場開拓、起業を支援するとともに、テクノセンターと地元の室蘭工業大学との業務提携による「産学官連携支援室」の設置など、大学を核とした産学官の連携を推進し、ものづくり基盤技術の向上と人材育成に取り組んできた。

また、室蘭に蓄積されてきた高度な技術と人材を活かし、積極的な企業誘致を進めるとともに、リサイクル事業や廃棄物処理事業、風力や太陽光といった新エネルギー事業を推進し、北日本の環境産業拠点都市を目指し、新たなものづくり産業への展開に取り組んできたところである。

近年は、これまで培われてきた技術と人材、企業による技術向上の取り組みとともに、中国の経済成長の影響等により、鉄鋼業などの製造業を中心に、フル操業状態の続くかつてない活況にある。

室蘭市の平成18年製造業出荷額（工業統計調査）は、9,246億円と過去最高額を記録し、道内出荷額1位、全道の製造業出荷額の16.1%を占めている。また、近隣の苫小牧市においては自動車関連産業の進出が盛んであり、自動車関連産業との連携による事業拡大等も期待され、依然として厳しい経済状況の続く北海道経済において、

本市は、北海道のものづくりを支える重要な役割を担っている。

しかしながら、現在は好調な室蘭のものづくり産業も、2007年問題とも言われる団塊世代の大量退職による熟練技術の継承問題や、中核的・専門的人材の不足、若者の現場業務離れや早期離職など、ものづくりを担う人材が不足しており、室蘭市がこれまでの高度な技術を後世に引継ぎ、「ものづくりのマチ」として新たな産業分野への進出を図っていく上で大きな課題となっている。

そのため、新たな労働力の開拓や中核的な人材の確保・育成、若者などの雇用ミスマッチの解消、離職者の再就職を支援し、人材確保が求められる。また、本市においても地域の高齢化が進展しており、団塊世代のスキルやノウハウ、地域資源を活かした起業や事業拡大等により、高齢社会に対応する地域の生産力、地域の活力の維持・向上が求められている。

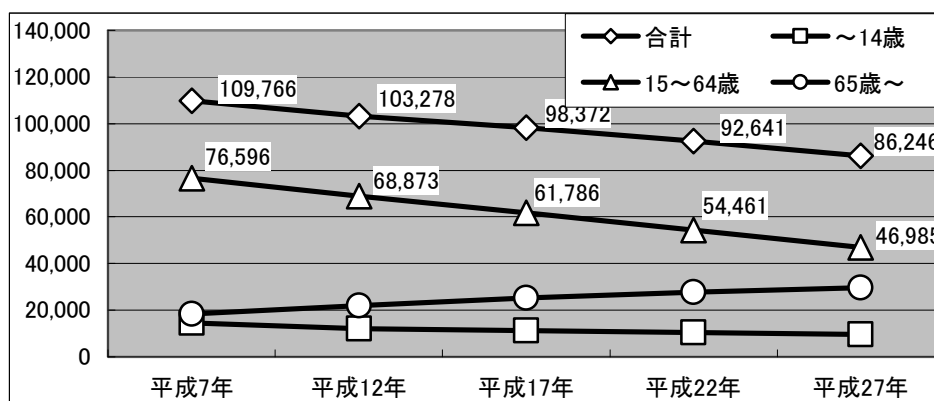


図1. 室蘭市の人口推移 (国勢調査) と推計 (単位: 人)

(推計は、平成12年・17年の人口を基準に、コーホート法により推計)

年齢別労働人口

	24歳以下	25~29歳	30~44歳	45~54歳	55歳以上	合計
室蘭市	4,222 9.3%	3,980 8.8%	12,972 28.6%	10,141 22.3%	14,077 31.0%	45,392
北海道	267,302 9.6%	266,792 9.6%	855,514 30.7%	630,579 22.6%	765,607 27.5%	2,785,794

就業構造

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	合計
室蘭市	318 0.8%	11,329 27.0%	30,357 72.3%	42,004
北海道	200,822 7.7%	495,496 19.0%	1,907,957 73.3%	2,604,275

表1. 室蘭市の年齢別労働人口と就業構造 (平成17国勢調査)

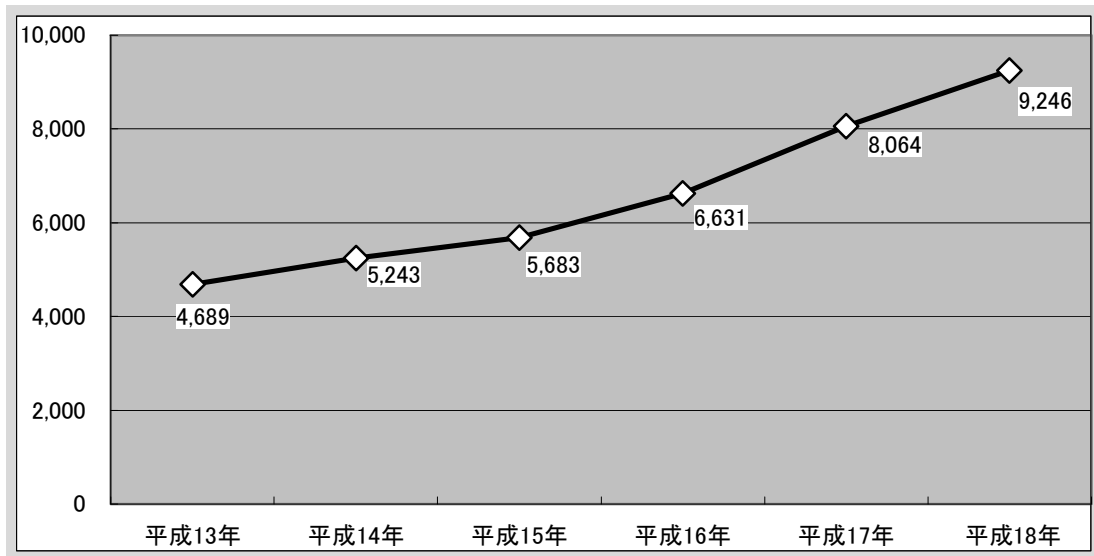


図 2. 室蘭市の製造業出荷額の推移 (工業統計調査) (単位：億円)

全道	室蘭市	苫小牧市	札幌市	釧路市	千歳市
57,496	9,246	9,219	5,098	2,560	2,137
	16.1%	16.0%	8.9%	4.5%	3.7%

表 2. 北海道の製造業出荷額に占める室蘭市の割合 (単位：億円)

(平成18年製造業出荷額/工業統計調査)

本計画は、地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）の支援を受け、離転職を繰り返す若年者を対象に、ものづくり技術者等を講師に迎えて、実験やデモンストレーションを交えた講義により興味を喚起し、地域企業が求めるスキルを備えた人材として養成するほか、団塊世代等の中高年者が有する技術を活かした再就職支援を行なう。

また、室蘭の技術と人材を活かした企業誘致や、地域産業を支える事業主のために、事業拡大や転換を支援し、新たな産業分野への進出を促進することにより、雇用機会の拡大・創出と、活力・魅力ある地域づくりを目指すものである。

具体的には、地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）を活用する事業の実施により、平成20年度から平成22年度までに、231名の雇用創出を目指す。

## 5. 目標到達のために行う事業

### 5-1. 全体概要

室蘭市は、本計画により「ものづくり」を活かした雇用機会の拡大・創出、少子高齢社会における活力と魅力ある地域づくりを図り、持続的なものづくりのマチの発展を実現するため、以下について取り組む。

### **(1) これからの「ものづくり」を担う人材の育成と地域活性化**

これからも室蘭市がものづくりのマチとして持続的に発展するためには、技術の集積・向上とともに、人材の確保・育成が必要不可欠である。

### **(2) 高度な技術と人材による新産業分野への進出・展開**

高度なものづくり技術と人材の集積により、新産業分野への進出・展開を促進するため、企業による新技術・新製品の開発や市場開拓、人材育成を支援するとともに、高度な技術を有する技術者を、地域の知の拠点である室蘭工業大学を核とする産学官連携により育成し、ものづくり基盤技術の向上を図る。

さらに、室蘭の優れた技術と人材を活かし、積極的な企業誘致を行うことにより、新たな雇用創出と更なるものづくり技術の集積を図る。

## **5-2. 法第5章の特別措置を適用して行う事業**

該当なし

## **5-3. その他の事業**

### **5-3-1. 地域再生基本方針に基づく支援措置**

#### **地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業） 【B0902】**

##### **(1) 実施主体**

室蘭市雇用創造推進協議会

##### **(2) 構成団体**

室蘭市、室蘭商工会議所、連合北海道室蘭地区連合会、学校法人北斗文化学園

##### **(3) 実施を希望する期間**

平成20年度～平成22年度

##### **(4) 行おうとする主な事業**

###### **① 若年者向け「ものづくりおもしろ講座」の開催**

イ オートCADの技術を学ぶ（5日間）。その前段として、指定管理者制度に移行後、好事例をおさめている室蘭市青少年科学館の指導員（退職校長等）による科学実験や、市内の金型技術者から、直接CADの必要性を講義してもらうことで、若年者の興味を喚起。CAD講座終了後、3～5日間、市内企業での就労体験を実施する。

ロ その他、就職希望者を募り、バスで市内のものづくり企業数社の見学と、ミニ就労体験を実施するほか、再就職支援会社による、就職に役立つセミナーを開催。

###### **② 中高年求職者向け「団塊世代マッチング事業」の開催**

高齢社会における団塊世代のスキル、ノウハウを地域産業に活かすため、人材登

録やカウンセリングにより、早期マッチングを図り、団塊世代や中高年移住者等の再就職を支援する。また、就職活動や、就職後のトラブル回避に役立つガイドブックを作成し、フォローを図る。

### ③ 室蘭市適職フェアの開催

室蘭の産業を担う優秀な人材を広く確保するため、室蘭市と登別市の主要企業が参加し、一般求職・離転職者や学生との適職フェアを札幌市で開催する。

### ④ 人材獲得戦略セミナー事業

事業主を対象に、室蘭のものづくり産業を担う人材誘致のノウハウと、新たな事業展開へのチャレンジの手法について、講師を招聘し、基調講演とシンポジウムを開催する。

## 5-3-2. その他の関連事業

### (1) 若者の地元就職の促進

高校生を対象に、企業見学やミニ就労体験、セミナーなどを盛り込んだ「就職サポートパック事業」を近隣市（登別市・伊達市）と共同で実施するとともに、就職促進協力をハローワークに配置し、若者等の求職相談を通じて、若者の地元就職と定着の促進を図る。

### (2) 企業の新産業分野進出の促進

企業の新製品・新技術の研究開発や新規事業化を進めるため、(財)室蘭テクノセンターの「ものづくり創出支援事業」を通じて、大学や公共試験研究機関との密接な連携を推進するとともに、新産業分野への進出に向けた新技術・製品開発のマーケティング調査や、研究シーズの事業化、技術者育成を支援する。

### (3) 産学官連携の推進

(財)室蘭テクノセンターと室蘭工業大学において業務提携を結び、「産学官連携支援室」を大学内に設置しており、大学の持つ研究開発機能とテクノセンターのコーディネート機能を補完し合うことで、研究シーズの発信と活用を戦略的かつ効果的に行い、より充実した産学官連携を推進する。

また、室蘭工業大学では、より実践的なものづくり教育を行う「ものづくり基盤センター」の開設や、社会技術者等を対象にした、鍛造技術における高度技術者の育成を目的とする「ものづくり工学コース」を大学院に新設するなど、大学を核として、産学官が連携した、これからのものづくりを担う人材の育成に取り組んでいる。

(4) 技術と人材を活かした企業誘致の促進

室蘭市の集積された技術や人材を活かし、首都圏の企業立地協力員や企業誘致推進協議会を活用して情報発信や情報収集に努め、積極的な企業誘致活動を行うとともに、進出企業に対しては、「産業振興助成金」により、設置施設や固定資産税へ助成するなど、本市への企業誘致を促進する。

(5) 新規創業の支援

「中小企業融資制度」を設けて、創業を支援するとともに、平成19年度からは商店街での空き店舗を活用した出展・起業も融資対象とするなど制度充実を図り、地域資源を活かした創業・起業を支援している。

**6. 計画期間**

認定の日から平成23年3月末まで

**7. 目標達成状況に係る評価に関する事項**

新パッケージ事業を活用した求職者や事業所に対して、毎年度アンケート調査を実施するとともに、事業の取り組み・雇用創出について評価を行う。

**8. 地域再生計画の実施に関し、当該地方公共団体が必要と認める事項**

該当なし